

令和6年度 鳥取大学入学者選抜試験問題  
(学校推薦型選抜Ⅱ)

# 小論文

(農学部 共同獣医学科)

出題の意図

## 出題の意図

### 問題 1.

題材は 2005 年に出版された「そりゃないよ獣医さん 酪農の現場から食と農を問う」という図書からの抜粋を一部改変したものである。抜粋した箇所は平易な文章であり、高等学校で共通に学ぶ基礎的知識があれば十分に理解できる内容である。問題文はやや長めだが、与えられた時間内に解答できる範囲であり、基礎的知識、文章読解力、論理的思考力、洞察力、表現力などを判断し、獣医師を志す受験生として備えるべき力を有しているかについて総合的に評価する意図をもって出題した。

問 1. 獣医師を志す受験生として持っていてほしい基礎的知識と漢字力を問う。

問 2. 獣医師を志す受験生として持っていてほしい基礎的知識と漢字力を問う。

問 3. 文章読解力と論理的思考力を問う。

問 4. 文章の読解力、文章中の表現に対する考察力を問う。

問 5. 生物学の基礎的知識と洞察力を問う。

問 6. 文章読解力と科学的発見を端的に表現する力を問う。

問 7. 文章読解力に加えて、論理的思考力と表現力を問う。

## 出題の意図

### 問題 2.

題材は一般の読者を対象として Scientific American に掲載されたジャンピング遺伝子（可動性遺伝因子）に関する文章を抜粋、一部改変したものである。本設問文では、脳の多様性（個性）と可動性遺伝因子との関連について全体的に平易な英文で記述されており、高等学校で共通に学ぶ基礎的知識があれば十分に理解できる内容である。英文中の専門用語等には適宜注釈を付しており、共同獣医学科への入学を希望する学生ならば容易に読みこなすことができる。また答えの大部分は本文中にある。設問では、英文読解力、日本語での文章構成能力、生物学の基礎知識および論理的な思考を問うことを目的とした。

問 1. 英語の語彙力および生物学の基礎知識を問う。

問 2. 英文読解力、英文内容の理解度、日本語での文章構成能力を問う。

問 3. 英文読解力、日本語での文章構成能力、生物学の基礎知識を問う。

問 4. 英語の語彙力、文章中の表現に対する考察力、生物学の基礎知識を問う。

問 5. 英文読解力および日本語での文章構成能力を問う。

問 6. 英文読解力、主題の理解度、日本語での文章構成能力を問う。

問 7. 図の理解力、文章中の表現に対する考察力、生物学的基礎知識の応用力を問う。